

厚生労働省における男女の性差に配慮した施策の推進について

令和 7 年 3 月 5 日
厚生労働省

女性の健康の包括的支援における研究事業について

女性の健康に包括的支援に関する課題

- 女性の心身の状態が人生の各段階に応じて大きく変化するという特性に着目した取組が必要
- 女性の就業等の増加、婚姻や妊娠出産をめぐる変化、平均寿命の伸長等に伴う健康課題の変化に応じた対応が必要
- 女性の健康に関する調査・研究に基づく知見を踏まえ、健康施策を総合的にサポートする体制が必要

平成27年度より研究事業を新設

女性の健康の包括的支援政策研究事業 (厚生労働科学研究)

女性の健康の包括的支援に関する制度
設計、政策の立案・実行等に資する研究

令和7年度概算決定額：73,809千円
(令和6年度予算額：55,000千円)

連携

女性の健康の包括的支援実用化研究事業 (AMED研究)

女性の健康に関する問題をサポートするた
めの技術の開発、実用化に関する研究

令和7年度概算決定額：139,361千円
(令和6年度予算額：147,834千円)

- ・ 女性の年代別健康課題の実態把握、社会決定要因分析
- ・ 女性の健康課題のセルフチェックツール、問診票開発
- ・ 性差にもとづく更年期障害の解明と両立支援開発
等

- ・ 女性ホルモンが健康に及ぼす影響に関する研究
- ・ 女性特有の臓器等に係る疾病に関する研究
- ・ 若年女性に特有の疾患予防に関する研究
- ・ 性差に関わる研究 等

今後の方向性

- 女性の健康を生涯にわたり包括的に支援するための研究について、引き続き取り組む。我が国における実態を正確に把握した上で、女性の健康に関する国民への正確な情報提供や、女性が必要な支援・医療を受けられる環境整備を進めることで、女性の健康の維持増進のみならず、社会・経済活動の活性化に貢献する。

健康増進事業（健康相談：女性の健康）について

事業概要

- 健康増進法第17条及び第19条の2に基づき市町村が行う、①健康教育②健康相談③健康診査④訪問指導の事業に対して、都道府県が補助する事業及び指定都市が行う上記事業の国庫補助を行う。
(補助金：負担割合【国1/3、都道府県1/3、市町村1/3】【国1/3、政令指定都市2/3】)

種 類 等		内 容
健康相談	重点健康相談	○幅広く相談できる窓口を開設し、以下の健康相談を行う。 (高血圧・脂質異常症・糖尿病・歯周疾患・骨粗鬆症、 女性の健康 ・病態別（肥満、心臓病等）)
	総合健康相談	○対象者の心身の健康に関する一般的事項に関する指導、助言を行う。

（健康相談：女性の健康）

- (1) **目的**：健康相談は、心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。
- (2) **対象者**：当該市町村の区域内に居住地を有する40歳から64歳までの者を対象とする。ただし、健康相談の内容や対象者の状況によっては、対象者に代わってその家族等を対象とすることができる。
- (3) **種類**：

- ・実施方法：市町村は、選定した重点課題に関し、知識経験を有する医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士等を担当者として、健康に関する指導及び助言を行う。
実施に当たっては、市町村保健センター、健康増進センター、老人福祉センター、公民館 等に気軽にかつ幅広く相談できる健康相談室等の窓口を設置する。
- ・実施内容：女性専用外来や健診機関の案内、女性の健康づくりについて個人の食生活その他の生活習慣を勘案して行う相談指導
- ・実施状況：平成26年度（18,394人）、平成27年度（19,728人）、平成28年度（19,859人）、平成29年度（21,795人）、平成30年度（18,390人）、令和元年度（18,916人）、令和2年度（12,547人）、令和3年度（13,010人）、令和4年度（16,149人）

ホームページ「女性の健康推進室ヘルスケアラボ」

多くの女性が直面する月経の悩みや、妊娠・出産に関する疑問、様々な体調不良等に関して、情報提供しています。

(1か月あたりの訪問数約35万、PV数約70万)

女性の健康推進室

ヘルスケアラボ

HealthCareLab

はじめに 女性の健康ガイド 病気を調べる セルフチェック マタニティトラブル レシピ

「女性の健康推進室 ヘルスケアラボ」は、すべての女性の健康を支援するために厚生労働省の研究費で作成しました。

ピックアップ

思春期特有の性や体の悩み

『思春期の 性と健康』

.....

更新 2021/10/08
新着記事「妊孕性温存」を追加しました

更新 2021/08/27
妊婦さんの新型コロナウイルスのワクチン接種に...

お知らせ一覧 ▶



はじめに

すべての女性に知ってほしい女性のからだごとの特性 ▶

病気を検索

気になるキーワード、症状で調べる ▶

病院検索

医療施設へののご案内です ▶



病気の早期発見・対応を！女性検診とワクチン

年を重ねるごとにさまざまな病気のリスクが高まります。検診やワクチンで事前の対策をお勧めします。

子宮頸がん予防接種（HPVワクチン）
【小学1年～高校1年の方向け】

HPVワクチンは子宮頸がんなどHPV（ヒトパピローマウイルス）による病気を予防するための予防接種です。

詳しくはこちら ▶

子宮頸がん予防接種（HPVワクチン）
【1997年～2005年生まれの方向け】

HPVワクチンは本来は高1までの接種が推奨ですが、1997～2005年度生まれの女性は特別で2025年3月まで無料で接種できます。

詳しくはこちら ▶

TOP > これって病気かな？女性の病気セルフチェック



これって病気かな？女性の病気セルフチェック

「もしかして病気かも？」と不安になったとき、気になる病気をセルフチェックしてみましょう。

子宮頸がんチェック ▶

子宮体がんチェック ▶

乳がんチェック ▶

子宮内膜症チェック ▶

子宮筋腫チェック ▶

生理痛チェック ▶

月経前症候群(PMS)/月経前不調気分障害(PMDD)チェック ▶

不妊症チェック ▶

性行為感染症チェック ▶

更年期障害チェック ▶

過活動膀胱チェック ▶

うつ症状チェック ▶

不眠症チェック ▶

マタニティトラブルQ&A

妊娠中の疑問をいつでもどこでも解決

妊娠中の生活あれこれ ▼

おしものトラブル ▼

からだの変化と不調 ▼

体調の変化 ▼

産後のこと ▼

妊娠中や授乳中の薬 ▼

女性の健康推進事業

研究代表団体：東京大学産婦人科学教室

<http://w-health.jp/>



施策名:女性の健康相談支援体制構築事業

① 施策の目的

女性の健康については、ライフステージによりホルモンバランスが劇的に変化し、心身の状態に大きな変化を生じることから、ステージ毎の特性に応じた支援が求められるため、薬局等の身近なところで相談支援を行う者を養成するための教育資材の開発や、相談から診療に繋げるスキームの構築を図る。

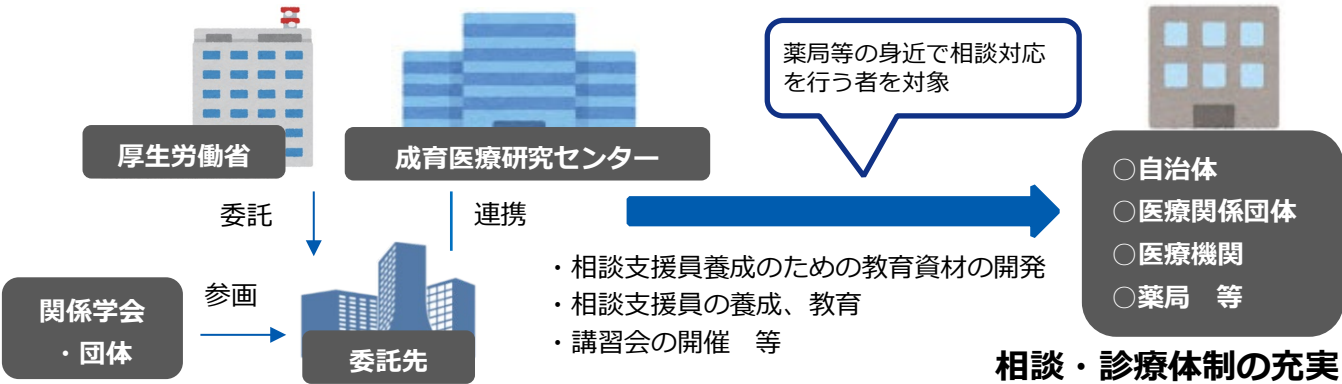
② 対策の柱との関係

I	II	III
		○

③ 施策の概要

女性の健康支援に関する関係者が連携し、必要に応じて適切な受診勧奨が可能な女性の健康支援に関する相談支援体制を構築するため、現状の課題の整理や教育資材の開発、好事例収集等を行う。

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等



<想定される関係者の主な役割>

- 【自治体】
 - 相談対応、治療対象者の医療機関への誘導
 - 相談支援員/一般向け講習会の開催、近隣医療機関との連携 等
- 【医療関係団体】
 - 講習会の開催、連携体制構築 等
- 【医療機関】
 - 患者の状況に応じた診療、紹介・逆紹介、連携体制構築 等
- 【薬局等】健康サポート薬局等を想定
 - 相談対応、治療対象者の医療機関への誘導
 - 近隣医療機関との連携 等

⑤ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

女性の健康支援に関するリソースの可視化、相談支援員の養成・教育によって、社会的損失(労働生産性の損失、医療費支出の増大)の観点から女性の健康の一層の増進を図ることができる。

令和7年度当初予算案9.5億円（7.0億円）※（ ）内は前年度当初予算額

※令和6年度補正予算額5.9億円

1 事業の目的

女性は、ライフステージ毎に心身の状況が大きく変化することにより女性特有の健康課題などが生じるため、就労の継続等に影響を与えるなど、社会的・経済的な損失も発生している。このため、女性の健康や疾患について、ライフステージ毎に多面的・包括的な分析を加え、病態の解明・治療・予防に向けた研究を推進するとともに診療機能の充実を図る。

2 事業の概要・事業スキーム・実施主体等

国立成育医療研究センターに設置している女性の健康総合センターにおいて、女性の健康や疾患に特化した研究やデータの収集・解析、情報発信等を行うために必要な経費について財政支援を行う。

女性の健康総合センター

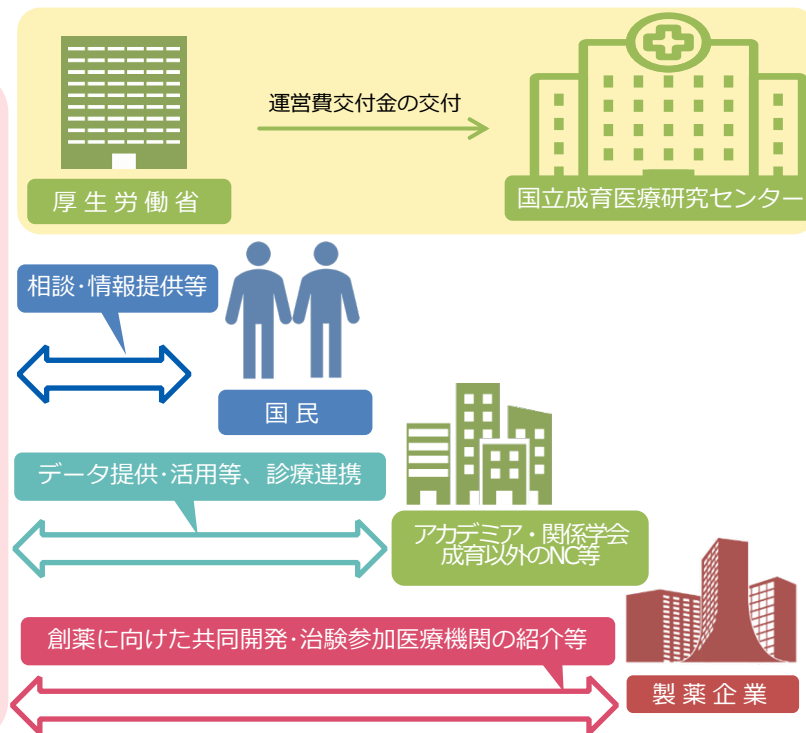
女性の健康に関するデータセンターの構築

情報収集・発信、人材育成、政策提言

女性のライフコースを踏まえた基礎研究・臨床研究の積極的な推進

女性の体とこころのケアなどの支援等

女性の健康や疾患に特化した診療機能の充実



女性が人生の各段階で様々な健康課題を有していることを社会全体で共有し、女性が生涯にわたり健康で活躍できる社会を目指す